

平成 27 年 6 月 5 日

谷中地区町会連合会会長  
谷中地区まちづくり協議会会長  
野池幸三 殿

谷中のこぎり屋根工場部材活用のご提案とお願い

谷中のこ屋根会  
代表：山崎範子

平素、谷中のまちづくりにご尽力いただき、ありがとうございます。

一昨年は、谷中よみせ通り沿いに残された明治時代のリボン工場ののこぎり屋根工場の部材の調査について、ご賛同いただき、ありがとうございました。

谷中のこ屋根会では、よみせ通り（旧谷田川）沿いに建っていた「のこぎり屋根工場」が解体された際（2013年9月）に部材の一部を保存致しました。これらを再び町のランドマークとして復活させることを提案させていただきます。

のこぎり屋根のあった場所にほど近い、防災広場「初音の森」は、周知のとおり、リニューアルした谷中防災コミュニティセンターとともに日々住民でにぎわう集いの場となっています。防災機能も備えた住民にとって重要な場所に、町の歴史を伝え、かつ機能する「のこぎり屋根」を活用してはどうかと考えました。

【例1】：通りに面して「のこぎり屋根」の架構を連ねることで、通りの町並みにリズムを与え、同時にベンチの上の日除け屋根としても機能します。屋根からは北面の採光がとれ、壁を作らないことで適度な明るさを保ち、安全面にも配慮します。イベント時には「かまどベンチ」を使った飲食ブースに、また災害時には配給所や救護ステーションとしても役立ちます。

【例2】：縦にも横にも連結できる「のこぎり屋根」は、組み合わせによって様々な広さのスペースをつくることができます。コミュニティセンターに近い側にのこぎり屋根を置くことで、広場に向けたステージとして利用できます。敷地南側の斜面が自然な観客席となるでしょう。他にも、センターの展示コーナー・ロビー・調理室と一体的に利用できる屋外の休憩所に、あるいは屋根のある駐輪場など、様々な活用方法が考えられます。

木造の軸組ではありますが、広場内であれば東屋として建てることも可能ですし、柱など太い部材を用いるために燃え（おち）にくい特徴もあります。なにより木の風合いが表に出ることで、憩いの場に合った景観づくりに役立てることと思います。

防災広場「初音の森」への設置の提案を、ぜひ谷中地区町会・谷中地区まちづくり協議会の皆様とご一緒に台東区長にお願いしてまいりたいと存じます。どうぞ宜しくご検討お願いいたします。

連絡先：台東区谷中 3-14-20-201 tel.090-1726-8702  
谷中のこ屋根会 担当：山村咲子